



～絆を深めて Keep Smile～

第120号 令和3年1月18日（月）

6年生 総合的な学習「夢に向かって」



先日の校長先生の話を受けて、6年生ではスポーツ選手の生き方に目を向けました。

一流選手として活躍する姿をよく目にしますが、果たして本当にその姿ばかりなののでしょうか？

実は、夢を達成するまでに苦しみ、つらいことも多く体験していることを知りました。

有名な卓球選手がうまくなるまでにはこのような苦しみがあったのですね。



子ども達は、すぐに自分の生き方や考え方と照らし合わせながら自分の考えをまとめていきました。

6年生にとっては、卒業を控え、自分の生き方を見つめなおす機会です。今年は、特にコロナ禍にあって、さらに深く考えていく機会が増えました。

振り返りにも、考えを深めながらまとめていく姿がよく見られました。

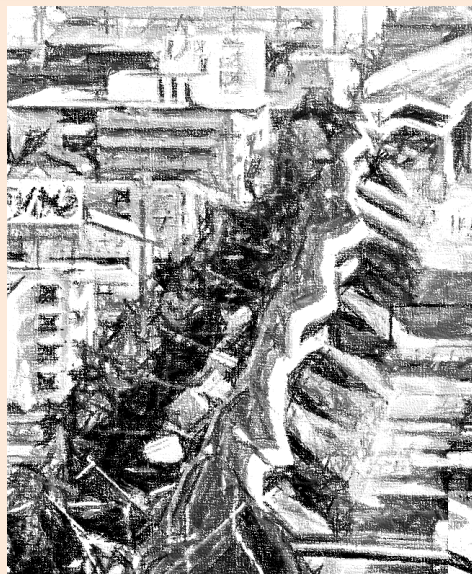


また、担任の思いがたくさん伝わってくる機会でもあります。ここではフィギアスケートの選手の生き方と担任の思いを重ねながら、学習を進める様子が見られました。6年生の子ども達は、考えを深めるよい機会です。

フィギアスケートの選手のインタビューを見て見ましょう。何を考えていますか？



1月17日は阪神大震災の日 忘れてください、助け合う心



今から26年前の1995年1月17日、阪神大震災が起きました。未曾有の大災害に見舞われた神戸の町並み。その教訓を活かそうと、北九州市ではこの日を堺に防災への意識を高め、避難訓練を実施している学校が増えました。

私は、阪神大震災を経験した立場から、担任をしているときに、阪神大震災の恐ろしさとともに、これから生きていくために大切なことを伝えてきました。

①災害は誰にでも起こりうることを知っておくこと。

→ いつ何時、どのような災害が襲ってくるかわかりません。そのために、十分に備えておくことが大切です。

②災害時、最も大切なのは助け合う心

→ 災害は、今までの生活を突然奪っていきます。立ち直るために最も大切なのは「助け合う心＝共助の心」です。そのためには、普段から意識しておくことが大切です。

「今、この一瞬にありがとう。」

私たちは、与えられたことを当たり前の前であると感じてしまいます。

しかし、大切なことは、なくなって初めて気付くことが多いです。私は、日頃より、「感謝」の気持ちを忘れず持ち続けることで、困難を乗り越えられる、ということを実感しました。

今の世の中に通じることが多いように感じます。共助の心を大切に、コロナ禍を乗り越えていきましょう。

